

科目区分	課外講座						
科目名	華道Ⅰ						
担当教員	田村 豊圭						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1~4	単位数	0.0
授業のテーマ	日常生活の中で、季節に応じた花を色々な形にいけて楽しんでもらいたいと思います。初心者の方から経験者の方まで楽しく学ぶことができます。						
授業の概要	日本のいけばなの歴史 「いけばな」というと堅苦しいイメージがありますが、現在は、現代的な住居にも合う色々な形の「いけばな」があります。 ここでは初心者の方にも解りやすく、小原流の挿法形式、挿花区分、花型についての説明や、枝葉のカット、ハサミの入れ方、たわめる仕方、花のあつかい方等を実技を通してお話いたします。 四季折々の花材を楽しみながら、色々な花型や花器でお花をいけましょう。						
到達目標	小原流の基本の修得。 「初等科」の免許状の取得をめざします。(希望者のみ) 「本科」の免許状取得については、「華道Ⅰ・Ⅱ」を2講義以上履修する必要があります。(希望者のみ) 「本科」取得に関しては相談に応じます。						
授業計画	この授業では、小原流の生け方の中でも「花意匠」というかたちを中心におこないます。 花をいける人の基本的なルールとして、花材を大切に扱うこと。ゴミの始末、花器・剣山等の備品を大切にすること等の作法はしっかり習得し、守ってもらいたいと思います。 第1回 *初回の授業は4月10日(木)より行います。 花材の説明や、扱い方等を説明します。 持ち物等の説明(初回授業時のみ、花ハサミを持っておられない方には貸し出しがあります) 初回からお花を生けますので、お花を持って帰るための袋と新聞紙を持って来てください。 第2回~第8回 花材の説明や、扱い方等を説明します。 「花意匠」の中でも「たてるかたち」・「かたむけるかたち」を中心に、その日の花材にあった生け方を色々な花型にいけます。 第9回(6月実施予定)※授業の進行状況により、日程を変更する場合があります。 フラワーアレンジメント オアシスを使い、今までとは違ったかたちの花をいけます。 第10回~第12回 「たてるかたち」・「かたむけるかたち」を復習します。 花材によっては、新たに「ならぶかたち」・「ひらくかたち」を学びます。 第13回・第14回 実技試験。 その日の花材を見て、今までに学んだかたちをいけます。 第15回(まとめ) 花意匠の「まわる」をいけます。 「まわる」は真上から見ると円を描くようにいけていきます。もちろんどの方向からも美しく見えます。 さまざまな色合いの花で、まるでリースをつくるようにいけます。						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業初回時にお渡しする「学校用いけばなの基本」を読んで、予習・復習をお願いいたします。						
授業方法	実技を中心におこないますが、必要に応じて講義もおこないます。 フラワーアレンジメントは実施日を変更する場合があります。						
評価基準と評価方法	7月に、今まで指導した中から実技試験をおこないます。 出席日数も考慮に入れます。						
教科書	学校用いけばなの基本 ※初回授業時に配付します。 著 小原流研究院(財団法人 小原流)						

参考書	
-----	--

科目区分	課外講座						
科目名	華道Ⅰ						
担当教員	田村 豊圭						
学期	前期/1st semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1~4	単位数	0.0
授業のテーマ	日常生活の中で、季節に応じた花を色々な形にいけて楽しんでもらいたと思います。初心者の方から経験者の方まで楽しく学ぶことができます。						
授業の概要	日本のいけばなの歴史 「いけばな」というと堅苦しいイメージがありますが、現在は、現代的な住居にも合う色々な形の「いけばな」があります。 ここでは初心者の方にも解りやすく、小原流の挿法形式、挿花区分、花型についての説明や、枝葉のカット、ハサミの入れ方、たわめる仕方、花のあつかい方等を実技を通してお話いたします。 四季折々の花材を楽しみながら、色々な花型や花器でお花をいけましょう。						
到達目標	小原流の基本の修得。 「初等科」の免許状の取得をめざします。(希望者のみ) 「本科」の免許状取得については、「華道Ⅰ・Ⅱ」を2講義以上履修する必要があります。(希望者のみ) 「本科」取得に関しては相談に応じます。						
授業計画	この授業では、小原流の生け方の中でも「花意匠」というかたちを中心におこないます。 花をいける人の基本的なルールとして、花材を大切に扱うこと。ゴミの始末、花器・剣山等の備品を大切にすること等の作法はしっかり習得し、守ってもらいたと思います。 第1回 *授業は4月10日(木)より行います。 花材の説明や、扱い方等を説明します。 持ち物等の説明(初回授業時のみ、花ハサミを持っておられない方には貸し出しがあります) 初回からお花を生けますので、お花を持って帰るための袋と新聞紙を持って来てください。 第2回~第8回 花材の説明や、扱い方等を説明します。 「花意匠」の中でも「たてるかたち」・「かたむけるかたち」を中心に、その日の花材にあった生け方を色々な花型にいけます。 第9回(6月実施予定)※授業の進行状況により、日程を変更する場合があります。 フラワーアレンジメント オアシスを使い、今までとは違ったかたちの花をいけます。 第10回~第12回 「たてるかたち」・「かたむけるかたち」を復習します。 花材によっては、新たに「ならぶかたち」・「ひらくかたち」を学びます。 第13回・第14回 実技試験。 その日の花材を見て、今までに学んだかたちをいけます。 第15回(まとめ) 花意匠の「まわる」をいけます。 「まわる」は真上から見ると円を描くようにいけていきます。もちろんどの方向からも美しく見えます。 さまざまな色合いの花で、まるでリースをつくるようにいけます。						
授業外における学習(準備学習の内容)	授業初回時にお渡しする「学校用いけばなの基本」を読んで、予習・復習をお願いいたします。						
授業方法	実技を中心におこないますが、必要に応じて講義もおこないます。 フラワーアレンジメントは実施日を変更する場合があります。						
評価基準と評価方法	7月に、今まで指導した中から実技試験をおこないます。 出席日数も考慮に入れます。						
教科書	学校用いけばなの基本 ※初回授業時に配付します。 著 小原流研究院(財団法人 小原流)						

参考書	
-----	--

科目区分	課外講座						
科目名	華道Ⅱ						
担当教員	田村 豊圭						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜1	配当学年	1~4	単位数	0.0
授業のテーマ	日常生活の中で、季節に応じた花を色々な形に生けて楽しんでもらいたいと思います。初心者の方から経験者の方まで楽しく学ぶことができます。						
授業の概要	日本のいけばなの歴史 「いけばな」というと堅苦しいイメージがありますが、現在は、現代的な住居にも合う色々な形の「いけばな」があります。 ここでは初心者の方にも解りやすく、小原流の挿法形式、挿花区分、花型についての説明や、枝葉のカット、ハサミの入れ方、たわめる仕方、花のあつかい方等を実技を通してお話しいたします。 四季折々の花材を楽しみながら、色々な花型や花器でお花をいけましょう。						
到達目標	小原流の基本の修得 「初等科」の免許状取得を目指します。(希望者のみ) 「本科」の免許状取得については、「華道Ⅰ・Ⅱ」を2講義以上履修する必要があります。(希望者のみ) 「本科」取得に関しては相談に応じます。						
授業計画	この授業では小原流の中でも「花意匠」というかたちを中心におこないます。 経験者の方は、「花意匠」だけでなく、「盛り花」・「瓶花(へいか)」も学びます。 花をいける人の基本的なルールとして、花材を大切に扱うこと、ゴミの始末、花器・剣山等の備品を大切にすること等の作法はしっかり習得し、守ってもらいたいと思います。 第1回 *授業は10月2日(木)よりおこないます。 花材の説明や、扱い方を説明します。 持ち物等の説明(初回授業時のみ、花ハサミを持っておられない方には貸し出しがあります) 初回からお花を生けますので、お花を持って帰るための袋と新聞紙を持って来てください。 第2回~第6回 花材の説明や、扱い方等を説明します。 「花意匠」の中でも、「たてるかたち」・「かたむけるかたち」を中心に、その日の花材にあった生け方を色々な花型に応用していきます。 経験者の方は、「花意匠」に加えて、「盛り花(水盤に生ける)」・「瓶花(花瓶に生ける)」をいけます。 変化をつけながら、色々な花器を使って新しい花型を学びます。 第7回(11月に実施予定) ※授業の進行状況により、日程を変更する場合があります。 フラワーアレンジメント。 オアシスを使い、今までとは違ったかたちの花をいけます。 第8回~第11回 「たてるかたち」・「かたむけるかたち」を復習します。 花材によっては「ならぶかたち」・「ひらくかたち」もおこないます。 第12回(12月最終週) お正月花(松・千両・他)をいけます。 第13回・第14回 実技試験。 第15回(まとめ) その日の花材を見て、今までに学んだかたちをいけます。						
授業外における学習(準備学習の内容)	初回授業時にお渡しする「学校用いけばなの基本」を読んで、予習・復習をお願いいたします。						
授業方法	実技を中心におこないますが、必要に応じて講義もおこないます。 フラワーアレンジメントは実施日を変更する場合があります。						
評価基準と評価方法	1月に、今まで指導した中から実技試験をいたします。 出席日数も考慮にいれます。						

教科書	学校用いけばなの基本 ※初回授業時に配付します。 著 小原流研究院 (財団法人 小原流)
参考書	

科目区分	課外講座						
科目名	華道Ⅱ						
担当教員	田村 豊圭						
学期	後期/2nd semester	曜日・時限	木曜2	配当学年	1~4	単位数	0.0
授業のテーマ	日常生活の中で、季節に応じた花を色々な形に生けて楽しんでもらいたいと思います。初心者の方から経験者の方まで楽しく学ぶことができます。						
授業の概要	日本のいけばなの歴史 「いけばな」というと堅苦しいイメージがありますが、現在は、現代的な住居にも合う色々な形の「いけばな」があります。 ここでは初心者の方にも解りやすく、小原流の挿法形式、挿花区分、花型についての説明や、枝葉のカット、ハサミの入れ方、たわめる仕方、花のあつかい方等を実技を通してお話しいたします。 四季折々の花材を楽しみながら、色々な花型や花器でお花をいけましょう。						
到達目標	小原流の基本の修得 「初等科」の免許状取得を目指します。(希望者のみ) 「本科」の免許状取得については、「華道Ⅰ・Ⅱ」を2講義以上履修する必要があります。(希望者のみ) 「本科」取得に関しては相談に応じます。						
授業計画	この授業では小原流の中でも「花意匠」というかたちを中心におこないます。 経験者の方は、「花意匠」だけでなく、「盛り花」・「瓶花(へいか)」も学びます。 花をいける人の基本的なルールとして、花材を大切に扱うこと、ゴミの始末、花器・剣山等の備品を大切にすること等の作法はしっかり習得し、守ってもらいたいと思います。 第1回 *授業は10月2日(木)よりおこないます。 花材の説明や、扱い方を説明します。 持ち物等の説明(初回授業時のみ、花ハサミを持っておられない方には貸し出しがあります) 初回からお花を生けますので、お花を持って帰るための袋と新聞紙を持って来てください。 第2回~第6回 花材の説明や、扱い方を説明します。 「花意匠」の中でも、「たてるかたち」・「かたむけるかたち」を中心に、その日の花材にあった生け方を色々な花型に応用していきます。 経験者の方は、「花意匠」に加えて、「盛り花(水盤に生ける)」・「瓶花(花瓶に生ける)」をいけます。 変化をつけながら、色々な花器を使って新しい花型を学びます。 第7回(11月に実施予定)※授業の進行状況により、日程を変更する場合があります。 フラワーアレンジメント。 オアシスを使い、今までとは違ったかたちの花をいけます。 第8回~第11回 「たてるかたち」・「かたむけるかたち」を復習します。 花材によっては「ならぶかたち」・「ひらくかたち」もおこないます。 第12回(12月最終週) お正月花(松・千両・他)をいけます。 第13回・第14回 実技試験。 第15回 まとめ その日の花材を見て、今までに学んだかたちをいけます。						
授業外における学習(準備学習の内容)	初回授業時にお渡しする「学校用いけばなの基本」を読んで、予習・復習をお願いいたします。						
授業方法	実技を中心におこないますが、必要に応じて講義もおこないます。 フラワーアレンジメントは実施日を変更する場合があります。						
評価基準と評価方法	1月に、今まで指導した中から実技試験をいたします。 出席日数も考慮にいれます。						

教科書	学校用いけばなの基本 ※初回授業時に配付します。 著 小原流研究院 (財団法人 小原流)
参考書	

科目区分	課外講座						
科目名	茶道						
担当教員	中尾 宗祥						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜1～2	配当学年	1～4	単位数	0.0
授業のテーマ	茶道を通して、日本の文化にふれ、日本の四季を楽しみながら、礼儀作法も身につけましょう。						
授業の概要	お茶室で、薄茶点前の実習をしながら、折に触れて、茶道の歴史、茶会、茶道具、茶花、茶菓子などのお話をします。						
到達目標	お茶室での基本的な作法、初歩のお点前ができるようになること。 お茶室で学んだマナーは、一般社会でも広く応用することができます。 希望者は裏千家の初級許状を取得することもできます。（別途申請費が必要です）						
授業計画	<p>第1回 持ち物、服装について</p> <p>第2回 席入りの仕方、お菓子、薄茶のいただき方</p> <p>水屋の準備</p> <p>道具の名称、扱い</p> <p>割り稽古①</p> <p>第3回 割り稽古②</p> <p>第4回 盆略点前① 身近なところで、茶花をさがしてみよう</p> <p>第5回 盆略点前②</p> <p>第6回 盆略点前③</p> <p>第7回 風炉薄茶点前① 割り稽古 外国のお客さまを迎えるお茶会の準備</p> <p>第8回 風炉薄茶点前②</p> <p>第9回 風炉薄茶点前③</p> <p>第10回 風炉薄茶点前④ 拝見</p> <p>第11回 風炉薄茶点前 棚</p> <p>第12回 風炉薄茶点前 棚</p> <p>第13回 風炉薄茶点前 夏のお点前①</p> <p>第14回 風炉薄茶点前 夏のお点前②</p> <p>第15回 学生茶会 生田神社(予定) 学外のお茶会に出かけて、茶会に出席するマナーを学びます</p> <p>第16回 立礼① 御園棚 学祭茶会の準備</p> <p>第17回 立礼②</p> <p>第18回 立礼③</p> <p>第19回 立礼④</p> <p>第20回 立礼⑤</p> <p>第21回 立礼⑥</p> <p>第22回 大学祭茶会</p> <p>第23回 開炉 炉薄茶点前①</p> <p>第24回 炉薄茶点前②</p> <p>第25回 炉薄茶点前③</p> <p>第26回 炉薄茶点前④ 棚</p> <p>第27回 クリスマスのお茶会 見立てのお道具でクリスマスのおもてなしを考えてみましょう</p> <p>第28回 初釜 濃茶の頂き方</p> <p>第29回 真冬のお点前</p> <p>第30回 送別のお茶会</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	教科書を読んで、予習、復習してください。						
授業方法	お茶室でお点前の実習を中心にお稽古します 大学祭では、お客さまをお招きし実際にお茶会のお茶会を開いてみます。						
評価基準と評価方法	出席及び授業中の態度 感想文						
教科書	裏千家茶道 著 千宗室 千玄室監修 (財団法人 今日庵)						

参考書	
-----	--

科目区分	課外講座						
科目名	茶道						
担当教員	中尾 宗祥						
学期	通年／Full Year	曜日・時限	火曜3～4	配当学年	1～4	単位数	0.0
授業のテーマ	茶道を通して、日本の文化にふれ、日本の四季を楽しみながら、礼儀作法も身につけましょう。						
授業の概要	お茶室で、薄茶点前の実習をしながら、折に触れて、茶道の歴史、茶会、茶道具、茶花、茶菓子などのお話をします。						
到達目標	お茶室での基本的な作法、初歩のお点前ができるようになること。 お茶室で学んだマナーは、一般社会でも広く応用することができます。 希望者は裏千家の初級許状を取得することもできます。（別途申請費が必要です）						
授業計画	<p>第1回 持ち物、服装について</p> <p>第2回 席入りの仕方、お菓子、薄茶のいただき方</p> <p>水屋の準備</p> <p>道具の名称、扱い</p> <p>割り稽古①</p> <p>第3回 割り稽古②</p> <p>第4回 盆略点前① 身近なところで、茶花をさがしてみよう</p> <p>第5回 盆略点前②</p> <p>第6回 盆略点前③</p> <p>第7回 風炉薄茶点前① 割り稽古 外国のお客さまを迎えるお茶会の準備</p> <p>第8回 風炉薄茶点前②</p> <p>第9回 風炉薄茶点前③</p> <p>第10回 風炉薄茶点前④ 拝見</p> <p>第11回 風炉薄茶点前 棚</p> <p>第12回 風炉薄茶点前 棚</p> <p>第13回 風炉薄茶点前 夏のお点前①</p> <p>第14回 風炉薄茶点前 夏のお点前②</p> <p>第15回 学生茶会 生田神社(予定) 学外のお茶会に出かけて、茶会に出席するマナーを学びます</p> <p>第16回 立礼① 御園棚 学祭茶会の準備</p> <p>第17回 立礼②</p> <p>第18回 立礼③</p> <p>第19回 立礼④</p> <p>第20回 立礼⑤</p> <p>第21回 立礼⑥</p> <p>第22回 大学祭茶会</p> <p>第23回 開炉 炉薄茶点前①</p> <p>第24回 炉薄茶点前②</p> <p>第25回 炉薄茶点前③</p> <p>第26回 炉薄茶点前④ 棚</p> <p>第27回 クリスマスのお茶会 見立てのお道具でクリスマスのおもてなしを考えてみましょう</p> <p>第28回 初釜 濃茶の頂き方</p> <p>第29回 真冬のお点前</p> <p>第30回 送別のお茶会</p>						
授業外における学習(準備学習の内容)	教科書を読んで、予習、復習してください。						
授業方法	お茶室でお点前の実習を中心にお稽古します 大学祭では、お客さまをお招きし実際にお茶会のお茶会を開いてみます。						
評価基準と評価方法	出席及び授業中の態度 感想文						
教科書	裏千家茶道 著 千宗室 千玄室監修 (財団法人 今日庵)						

参考書	
-----	--